

市民の意見を市政に反映させるには？—— 一般質問

好評・タンバリン通信
スペシャル編です！

「公共施設再編」の達成度と市民協働について質問しました。

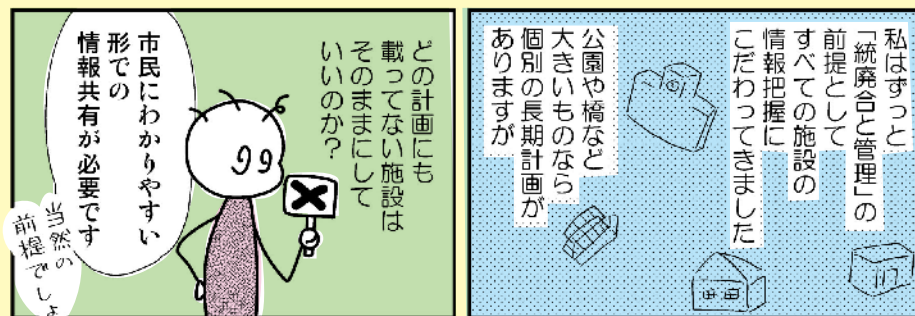


施設の整理・統廃合は進んだか

市側は学校跡地を都営住宅の建替え地に
したことなどを成果としていて、それは確かに
事実ですが、私は施設再編のために作った
「行動プログラム」の効果は甚だ薄いと考えて
います。都住移転は東京都主導で行われてい
る計画ですし、**図書館7館**の今後や**パルテノン
多摩改修**の中味もまだ確定していません。更
に、**武道館の改修**も現状維持の前提で進め
られていて、これで本当に効果的な統廃合が
できるのか、私は大きな疑問を抱いています。

情報の公開と共有を！

公共施設の存在意義は利用者である市民
抜きには考えられませんから、市民参画の手法
が大きな課題となります。しかし一方で市は、
施設の利用頻度だけでなく「総合的な判断」
で存廃を決めるとしていますので、市民がその
是非を判断するためにも、より正確な情報
公開が必要です。



市民意見を醸成する場づくりへ

上のマンガに描いた通り、私は阿部市長がかつての公約で掲げた「地域委員会」のような、市民間の合意形成の場を作るべきだと思っています。

市民参画にかかわる私の問題意識に対して、市長部局から明快な答弁は得られませんでした、ある程度の認識の共有はあったようです。

市側も、豊ヶ丘地区のコミュニティ問題で市民協働の取り組みに着手したり、さまざまな形で自治基本条例の実践のあり方を模索しています。恐らく時間はかかりますが行政・市民・議会、ともに諦めず努力を続けていきましょう。

